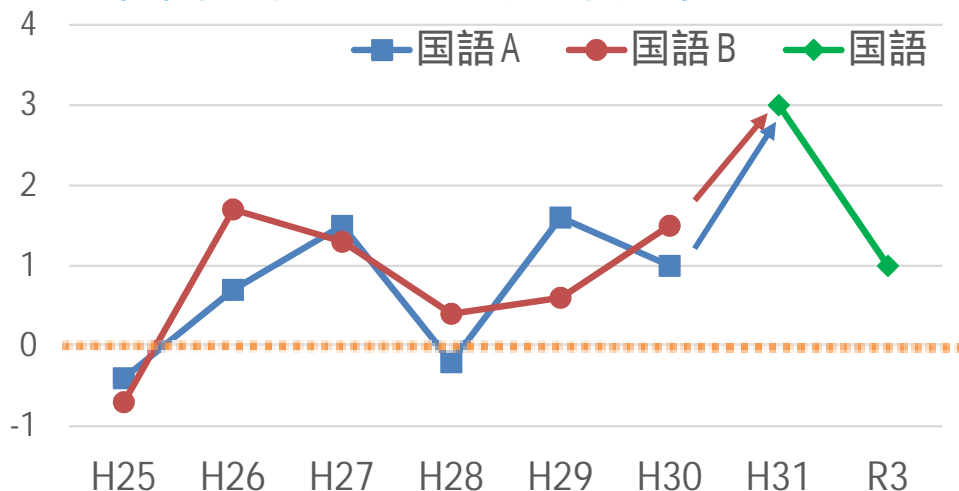


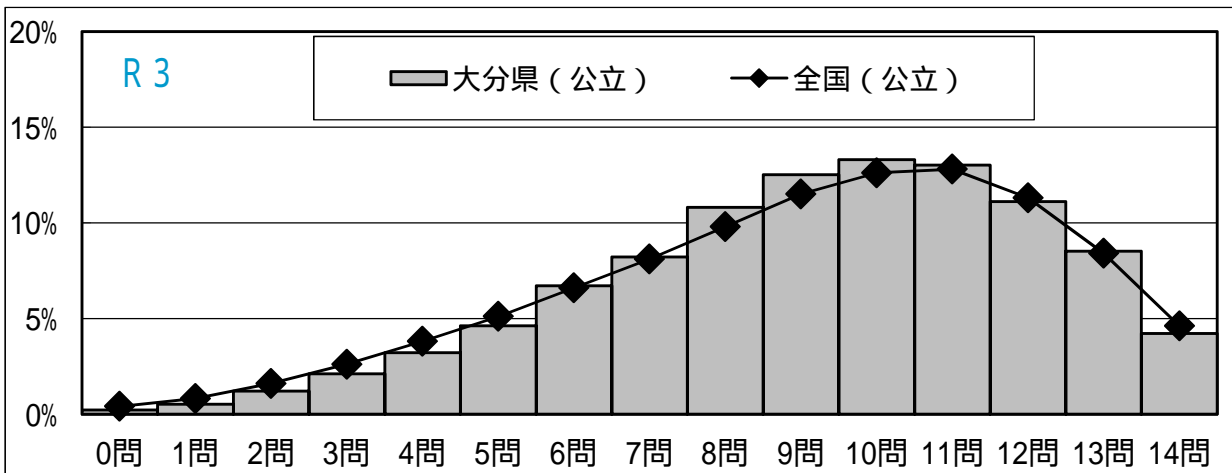
結果のポイント

1 全国平均との差の経年変化



全国平均を上回ったが、H31に比べて下回る。

3 正答度数分布



「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点
は全国平均を上回る。

低学力層の児童の割合(正答率20%以下)
が全国平均より少ない。
正答数が全国平均以上(9問以上)の児童
は62.6%であり、全国値61.2%を上回る。

2 領域別の結果

学習指導要領の内容	県	全国平均
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	69.7	68.3
(2) 情報の扱い方に関する事項	対象問題数0のため数値なし	
(3) 我が国の言語文化に関する事項	対象問題数0のため数値なし	
A 話すこと・聞くこと	77.4	77.8
B 書くこと	64.8	60.7
C 読むこと	46.5	47.2

「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」で、
全国平均を上回る。

「話すこと・聞くこと」「読むこと」で、
全国平均を下回る。

3 観点別の結果

観 点	県	全国平均
知識・技能	69.7	68.3
思考・判断・表現	62.7	62.1
主体的に学習に取り組む態度	対象問題数0のため数値なし	

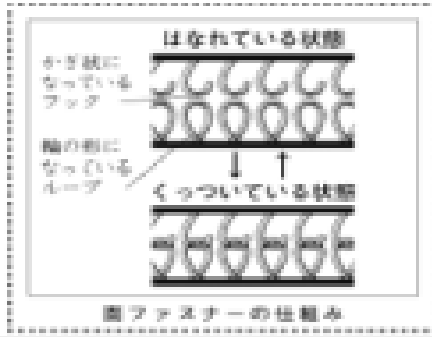
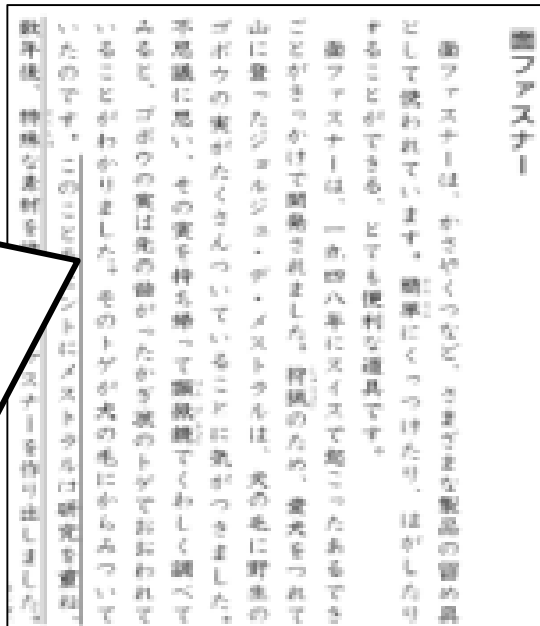
課題が見られた問題と指導の改善

1 正答率が低かった問題

大問2 設問四【平均正答率 大分県28.9% 全国29.7%】
 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかを見る問題。

四 【資料】を読み、条件に合わせて要約する。

- <条件>
 面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中での使われ方について書くこと。
 【資料】から言葉や文を取り上げて書くこと。
 50字以上、70字以内にまとめて書くこと。



指導の改善

【学習指導のポイント】

目的に応じて、必要な情報を見付け、まとめて書くことができるようにする。

要約するとは、文章全体の内容を把握した上で、元の文章の構成や表現をそのまま生かしたり自分の言葉を用いたりして、文章内容を短くまとめることである。同じ文章でも、要約する目的によって内容の中心となる語や文は異なる場合がある。文章を要約するためには、目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に説明することが大切である。

指導に当たっては、以下のような学習活動が考えられる。

「目的に応じて、必要な情報を見付ける学習」
 (同じ文章を活用した学習を想定)

〔例1〕

面ファスナーが開発されたきっかけについてまとめる。
 →きっかけとなった出来事について書かれている部分を中心に読み、「狩猟のため、愛犬をつれて山に登った」「犬の毛に野生のゴボウの実がたくさんついていることに気がきました」といった必要な情報を見付けて要約することが考えられる。

〔例2〕

面ファスナーが日本で広く知られるようになったきっかけについてまとめる。